



# 大原台

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862

TEL:099-294-2311

FAX:099-294-2309

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>

24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310 (全国统一フリーダイヤル)

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574 (固定電話専用フリーダイヤル)

099-294-2200 (通話料有料)



思い

叱り方」雑感

次長 森豊 貴志

昔からよく叱られてきた。子供の頃は親や先生に、社会に出てからは上司や先輩に、叱られることに関して、何ら経験も積み重ねてきた。

一方、叱ることは、私は教員ではないので、息子を叱る程度で経験は浅い。部下を持つようになって叱る場面も増えたが、叱るには配慮が必要な点も多く簡単ではない。

経営の神様松下幸之助は、部下が卒倒しそうなほど厳しく叱った人らしい。松下翁曰く「叱らないといけないから叱る」。叱り方を考えて叱るような不純な叱り方はしない。松心なく一生懸命叱る。神様が一生懸命叱るのだから、さぞ怖かったであろう。これは松下翁の力リスマ性ゆえに成立する名人の叱り方で、私の如き凡夫では絶対に成立しない。だが、叱るべき時に私心なく一生懸命叱る。叱り方の大原則かもしれない。もう一つの原則が「怒り」に心を支配されないことだろう。私は、ラグビー元日本代表監督平尾誠二さんの「四つの心得」を戒めとしている。

一 プレーは叱つても人格は責めない。

二 あとで必ずフォローする。

三 他人と比較しない。

四 長時間叱らない。

特に、四番目は「怒り」を最小限に止めるのに有効である。叱ることも相手とのコミュニケーションの一形態である。多感な子供を相手にする教師にとつては、熱い思いを込めつつも感情に支配されず上手に叱ることは職業人としての腕の見せ所となる。

当センターでも、怒りへの対処など叱り方に関する講座の開設や指導資料「平28健康教育第2号」を作成している。古人曰く「心中の賊を破るは難し」、叱り方は教師にとつてプロの矜持をかけた内なる自分との闘いである。子供たちのためにも負けてはならない。



# “学び続ける教職員”をサポート！－教育センターの活用法－

当センターは、学校の活性化や教職員の資質能力の向上を図るため、教科指導や生徒指導などの調査研究を進めています。また、その成果を生かした基本的・専門的研修や研修支援を推進しています。教職員に求められる知識やスキルが年々高度化・多様化する中、当センターでは、学び続ける教職員をサポートするための様々な事業を展開しています。その一部を紹介しますので、それぞれのニーズに応じて積極的に活用してください。

【受講者の感想】

授業参観をして、外国語科や外国語活動の授業はどうすればいいかが分かり、すぐ生かしてみようと思いました。

## 1 講座で学ぶ ～新しい内容を学びたい！～

短期研修講座は、自分が学びたい内容の講座を希望して受講できます。

今年度は、135講座を開設し、2,046人が学びました。そのうち、所員が各地区に赴いて実施する移動講座は61講座開設しました。

来年度は、学習指導要領改訂を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科等の研修講座や、カリキュラムマネジメント、プログラミング教育といった教育課題に対応する内容を計画しています。

移動講座は、講座数を増やし、72講座を予定しています。「外国語活動からつなぐ小学校外国語科の授業づくり」、「学びの質を高め、学力向上につなぐ小中学校国語（算数・数学）講座」、「ゼロからはじめるプログラミング教育」の講座については、県内の全ての地区で実施する予定です。

土曜講座は、短期研修講座を希望したが受講が叶わなかった方や、特定のテーマを深く学びたい方、教職を志す学生などを対象に開設しています。



【研究提携校の公開研究会に参加して学ぶ短期研修講座の様子】

【受講者の感想】

教頭としての役割や業務の意味、法的根拠などについて改めて考え、学ぶことができ、有意義な研修でした。



【学校の活性化に向けた取組について協議する新任教頭研修会の様子】

【受講者の感想】

演習を通して問題を焦点化し、考えることができたので、子供の困り感に寄り添っていきたいと思いました。



【特別支援教育（発達障害等基礎講座）の移動講座の様子】

## 2 研究支援で学ぶ ～直接所員に聞いてみたい！～

### ○ 各種研修会等への所員派遣

各地区の研修会等に所員が赴き助言する形態の支援は、11月までに261件、10,598人を対象に実施しました。

以下に示しているのは、その一例です。

#### 【要請のあった研修会等】

- ・教科等の指導に関する研修会  
（特別の教科 道徳、小学校外国語科、スピーチコンテスト、音楽発表会、図画工作審査会等）
- ・特別支援教育に関する研修会
- ・「学校楽しいーと」「SNSチェックシート」の活用に関する研修会

### ○ 来所研究

来所研究では、教職員が直接来所し、各学校の研究授業の指導案検討や研究論文の内容等の助言などを受けることができます。

### ○ 文書・電話、メールによる支援

文書や電話、メールでの支援は、特別な支援が必要な児童への対応等や生徒指導に関すること、研究大会での発表内容に関することなど、幅広く対応しています。



▲【来所研究の様子】

## 3 教育資料で学ぶ ～教育情報がほしい！～

当センターの「研究紀要」、「指導資料」、研究提携校や鹿児島大学附属小・中学校の「指導案」等は、Webサイトで公開しています。

所員派遣、来所研究、  
文書・電話等支援

研究紀要

指導資料

新学習指導要領関連情報（学習指導要領解説Q&A）



▲【当センターWebサイトトップページ】

# 教育センターから，“学び続ける教職員”に最新情報です！

## 1 分かりやすく解説します！ 学習指導要領解説Q & A

平成29年3月に公示された新学習指導要領について、「教科の『見方・考え方』を働かせる授業ってどんな授業？」「知識の理解の質を高めるとは、どういうこと？」といった先生方の疑問や知りたいことなどを、教科等別に解説するためQ & A形式でまとめました。

新学習指導要領解説小学校家庭科編ダイジェスト 鹿児島県総合教育センター

### 小学校「家庭科」改訂のポイント

児童一人一人の未来を切り拓く力を育むために、平成29年3月に公示された小学校学習指導要領において、小学校の「家庭科」がどのように改訂されたのか、今回の改訂のポイントを解説します。

家庭科の特質に応じた物事を捉える見方・考え方（「生活の営みに係る見方・考え方」）を働かせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成を目指しましょう。

生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成するために、どんな授業を行ってほしいですか？

表紙を開けると、改訂のポイントを「ダイジェスト版」形式にして、まとめてあります。

#### 家庭科 (小学校)

**Q5** 内容Bの食生活「(2)調理の基礎」で、ゆでる材料として「青菜やじゃがいもなど」と指定されたのは、なぜですか。

**A5** ゆでる材料として、水からゆでるものと沸騰してからゆでるものがあること、ゆでることによってかさが減るものは、多くの量を食べることができ、などの調理の特性を理解できるようにするためです。

★ポイント  
教科等の目標や新設された内容、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等について解説してあります。

### センターWebへの掲載計画

#### 【Web掲載中】

- ・特別の教科 道徳 (小学校及び中学校)

#### 【平成29年12月下旬掲載予定】

- ・幼稚園教育

#### 【平成30年2月下旬掲載予定】

- ・小学校の全教科等
- ・中学校の総則、総合的な学習の時間、特別活動
- ・中学校の一部の教科

※中学校の全教科等の掲載は、平成31年2月下旬頃の予定です。



## 2 新たな学びを実感できます！ 調査研究発表会

当センターは、教職員の資質向上や学校の教育活動の活性化を図るため、調査研究してきた成果や最新の教育情報を発信する調査研究発表会を、平成30年1月26日（金）に開催します。

9:00	受付
	<b>全体会</b>
9:30	開会行事
	概要説明
	研究発表 (情報教育研修課)
	研究発表 (特別支援教育研修課)
	調査報告 (教職研修課)
12:00	<b>分科会</b>
13:00	研究発表 (8つの分科会ごとに各教科等の研究を発表)
	事例発表 (研究協力員による実践発表)
	研究協議 (各分科会ごとに与えられたテーマに基づいて協議)
16:25	
16:35	閉会行事

「ICT活用場面に応じた情報モラルの指導」について発表します。分科会では、小学校**プログラミング教育**について発表します。

子供一人一人に何を教えるかを明確にするために「**個別の指導計画パッケージ**」の活用を提案します。分科会では具体的な活用法について発表します。

教育公務員特例法の一部改正により策定した「**かごしま教員育成指標**」について、策定に至る背景や指標の概要等について報告します。

<b>第1分科会</b> 国語科	<b>第2分科会</b> 社会、地理歴史、公民科	<b>第3分科会</b> 算数・数学科
<b>第4分科会</b> 理科	<b>第5分科会</b> 外国語活動、外国語科	<b>第6分科会</b> 情報教育
<b>第7分科会</b> 特別支援教育	<b>第8分科会</b> 教育相談	



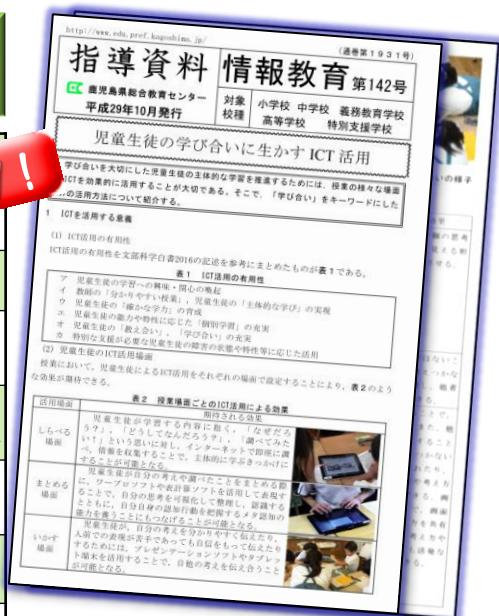
分科会では、**新学習指導要領のポイント**を踏まえた授業の構想や「**学校楽しい一と**」のアセスメント等について相互に協議します。





# 授業に、指導案作成等に役立つ！指導資料

教科等名	標 題
国語	「活用する力」を高める小学校国語科の授業改善 -小学校第2学年教材「たんぼのちえ」の授業づくりを通して-
社会	知識の理解の質を高める中学校社会科授業改善
数学	「部屋割り論法(鳩の巣原理)」を用いた論理的思考力を育成するための指導について
理科	条件を制御し、自ら観察、実験の計画や方法を発想する力を育成する小学校理科学習指導-小学校第5学年「植物の発芽」の実践を通して-
理科	「見通し」と「振り返り」を位置付け、学習の質を高める探究活動の実現へ向けて
理科	中高連携の視点に基づいた力学分野の指導 -作図を通した「力のつり合い」の理解に向けて-
家庭	生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成を目指す小学校家庭科学習指導
技術・家庭(技術)	小・中学校連携を視点としたプログラミング学習の一考察 -プログラミング言語「スクラッチ」を活用した題材例を通して-
保健体育	運動に親しむ児童生徒を育成する学習指導 -走り高跳びの楽しさや喜びを味わわせる指導を通して-
道徳	「考え、議論する道徳」の授業構想のポイント
外国語	技能の統合的活用を目指したリテリングの授業実践
外国語	小・中学校での外国語教育のよさを生かした高等学校外国語科の授業改善
情報教育	児童生徒の学び合いに生かすICT活用
情報教育	タブレット端末の活用について-環境整備に応じた活用方法と教材作成-
特別支援教育	キャリア教育の視点に基づく作業学習の指導
特別支援教育	知的障害のある子供の平仮名読みにつなげる指導
教育相談	学校適応感を高める定期教育相談の進め方 -「比較用『学校楽しいと』』を活用して-



新しい“指導資料”を発行しました。構成や内容等を工夫して読みやすくなっていますので、是非、御覧ください。

### 2 力は「受ける」のみ

前述の力の向きを生徒に正しく理解させるためには、力の矢印を明示させる場面において、まず教師が「受ける力」と「及ぼす力」をしっかりと区別して表現することが重要である。それらが生徒の思考の中で混在すると、物体図や指導のポイントを取り入れて内容を分かりやすく工夫しました！

図2 生徒が陥りやすい誤答例①  
※ 力の作用点は同一直線上にあるが、矢印が重複しないようにずらして示してある（以下同様）

**指導のポイント1**  
図示する力は「受ける力」のみ

そこで、明確な指導観に基づいてどのように授業を構想していくのか、その手順と方法について、小学校第1学年の「B 友情・信頼」（教材名「くりのみ」（『みんなのどくとく』1年 鹿見鳥出版））を例に説明する（図2）。

**価値観** ねらいとする道徳的価値（内容項目）について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。

友達と活動して楽しかったことや友達と助け合っよかったことを考えさせながら、友達と仲よくする大切さを育んでいく必要があると考えました。

【各教科等における「友情・信頼」に関わる指導】  
単元案に基づく指導  
国語の「くりのみ」の授業で、友達と仲よくすると楽しくなることを指導しました。  
体育の「ボール遊び」では、友達と仲よくゲームを楽しむことを指導しました。

**児童生徒観** 教師の前観観に基づきこれまでの指導と児童生徒の学びから、よきや課題を明確にし、本時の方向性を示す。

友達と仲よく遊んだり、生活したりするようになりました。  
友達の立場に立って、助け合うことはまだ難しいようです。

道徳科の授業で、「仲よくする」から、「仲よくし、助け合う」ということへ意識が向くよう、「友情・信頼」の意味や自己との関わりについて、考えを一層深める指導（深化指導）をする必要があると考えました。

**教材観** 教師の明確な価値観、児童生徒観を基に、教材をどのように活用し、どのような学習を行うのかを明らかにする。

【中心場面の設定】  
うさぎが自分の見つけた二つの葉の葉のうち一つをきつねに分けた場面が、きつねが返した葉の意味を深く考えさせたい。そして、友達同士仲よく助け合うことよき気づかせたい。

【学習指導過程や指導方法（発問、役割演技、ワークシート等）の工夫】  
友達のよさを感じたときの気持ちを想像させたい。

【中心発問の工夫】  
葉を返さなかったきつねさんは、どんなことを考えていたのでしょうか。

図2 明確な指導観に基づく授業構想例

授業の構想例や単元の指導計画例、1単位時間の指導案例等を多く取り入れているので、指導案作成にすぐ役立ちます！



写真 第5学年 題材「気持ちよく生活しよう〜すきりびひか大作戦〜」第2時の板書例

(平成29年度鹿児島県立総合教育センター立派な学校連携研究会研究発表 国語 授業 教師の板書(表)制作)

(3) 実践的・体験的な活動の充実  
また、家庭や地域での活動で得られた実践する喜びは、知識及び技能を習得する意義を実感する機会であり、さらに、失敗や困難を乗り越える基礎を培うため、従来から実践的・体験的な活動を重視している。  
指導に当たっては、児童が学習の中で習得した知識及び技能を、家庭や地域での活動で実践する必要がある。また、調理、製作などの実習や、観察、実験、交流活動など、それぞれの特徴を生かした適切な活動を設定し、指導の効果を高めるようにする。  
写真の板書例は、表の第2時「解決方法の検討と計画」である。共通場面として、改善が必要な家庭にある台所の食器棚や風呂場などの写

また、家庭や地域での活動で得られた実践する喜びは、知識及び技能を習得する意義を実感する機会であり、さらに、失敗や困難を乗り越え、やり遂げた達成感、自分への自信にもつながる。すなわち、学習意欲を向上させる観点からも、実践的・体験的な活動を重視する必要があります。

児童が家庭科で身に付ける生活をよりよくしようと工夫する資質・能力は、家庭の一員として、衣食住を中心とした生活の営みを大切にしようとするにつながり、生涯にわたって家庭生活を支える基盤となるものである。

当センターWebサイトでは、平成13年度からの全ての「指導資料」を印刷・閲覧できます！